

「自分を大切に・人を大切に・ものを大切に・自然を大切に」 を合言葉に、エコ委員会が主導して みんなで取り組むエコ・スクール活動

エコスクール活動に取り組んで19年目。今年度は、児童会エコ委員の活動がたくさんあった。ビオトープを核として家庭・地域・地元企業と連携し、環境学習の幅を広げた。

1 学校の概要

油日小学校は、滋賀県南東部の鈴鹿山脈の麓にあり、油日岳を源流とする杣川が学校近くを流れている。2000年の3月に完成した学校ビオトープも、今では木々が大きく育ち、カエル、メダカ、ドジョウ、ドンコ、タニシ、カワニナなど多くの生物が観察できる場になった。また、校庭にも数十種の木々が育ち、よい活動場所となっている。

2 活動の実際

(1) エコ委員会の取り組み

ア. ビオトープの紹介

5月7日のエコ集会でビオトープには、様々な生き物が住んでいることや多くの植物や薬草があることを紹介した。また、在来種を守るために勝手に生き物を入れてはいけないことや走り回ると生き物がびっくりしてしまうことなどビオトープで気をつけてほしいことも伝えた。



ビオトープの紹介をするエコ委員会

イ. エコミーティング

委員会活動の時間だけでは、十分な活動ができないため、毎週火曜日の昼休みにエコミーティングを行った。ミーティングでは、全校児童にビオトープの魅力伝えるためにどのようなイベントを計画したらいいのかを話し合い、準備をした。

イベント案が浮かばない時は、ビオトープに出向き、生き物や植物の観察をしたり遊んだりした。

ウ. エコイベント

今年度は、全校からエコクラブ会員を募集した。エコクラブ会員になった児童は、周りの友だちを積極的に誘ってエコイベントに参加してもらうようお願いした。イベントは、「カモフラージュ」「ザリガニの住み分け活動体験」「秋の虫とり」「エコ俳句」「松葉相撲」「冬のビオトープクイズ」の6つを実施した。それぞれのイベントを通して、全校児童が自然と親しむ機会を作ることができた。

カモフラージュのイベントでは、ビオトープの中の人工物を探すゲームを通して、じっくりと木や葉を観察してもらうことができた。

ザリガニの住み分け活動体験のイベントでは、エコ委員会が外来種であるアメリカザリガニを捕まえ、ビオトープの生態系を守ろうとしていることを知ってもらうことができた。

秋の虫とりのイベントでは、参加者に捕まえたバッタ、イナゴ、コオロギを種類ごとに虫かごに入れてもらう活動を行った。体のつくりをじっくり観察しながら種類わけをする参加者の姿が見られた。

エコ俳句のイベントでは、ビオトープの魅力が伝わる俳句を全校から募集した。実際にビオトープの自然を観察しながら作ることをルールとしてコンテストも開催した。「俳句」という難しいテーマのため参加人数は少なかったが、素晴らしい作品が集まった。

低学年の部 大賞

「エコパーク いろんなむしが いるんだよ」

中学年の部 大賞

「生きものが 自由にらせる エコパーク」

高学年の部 大賞

「自然だね 心も育む エコパーク」

先生の部 大賞

「はっぱぶとん さむがりどんぐり みいつけた」
松葉相撲のイベントでは、大王松の葉で1年生と6年生が楽しく遊ぶことができた。イベント後には、大王松の葉をたくさん集める低学年の姿が見られた。身近な自然物で遊ぶ楽しさを伝えることができた。

冬のビオトープクイズのイベントでは、冬でも葉を落とさない樹木があることや生き物が寒くなると減っていることなど冬のビオトープの様子についてクイズを通して楽しく知ってもらうことができた。

これらの活動についてエコクラブ活動交流会で発表を行い、奨励賞をいただいた。



松葉相撲で遊ぶ6年生と1年生

(2) 環境フェスティバル 10月13日(土)

この行事は、学校で取り組んでいる環境教育を、家庭や地域に広く紹介するために、親子で学ぶ場として全校をあげて行っている活動である。

内容は学年ごとに、次の活動を行った。

- ・1年 アサガオのつるのリースづくり
- ・2年 ひつつきむしの絵、虫クイズ
- ・3年 池の生き物観察と飯盒炊さん(防災)
- ・4年 丸太切り体験 木切れでクラフト
- ・5年 水中の微生物観察、ヨシ笛づくり
- ・6年 油日岳登山



池の生き物の捕まえ方を教わる児童

今年度は、6年生油日岳登山で甲賀山岳会の方に下見、道づくり、引率など協力していただいた。その他地元森林組合、みなくち子どもの森学芸員、オーパル等に協力いただき、自然とふれあい、環境保全について考えることができた。

(3) エコ・スクール支援委員会の取り組み

環境フェスティバルを支えるPTAエコスクール支援委員会は、2年、3年の活動の中心を担っている。フリップやプレゼンを利用して「ひつつきむし」や「飯盒炊さん」の説明を行った。実施後の総括会議では、保護者からのアンケート結果や支援委員の反省をもとに、学習活動の見直しや当日の動きなどについて具体的に意見が出され、次年度の活動につながる話し合いの場となった。

(4) ビオトープの活用

生活科や総合的な学習の時間「ハナノキタイム」では、各学年がビオトープを中心として環境学習を行っている。低学年は、植物や生き物の変化を観察し、四季を感じる事ができた。中学年は、薬草や樹木をじっくりと観察することができた。高学年は、水生生物を観察したり、薬草園でムラサキを育てたりすることができた。

(5) 地域や地元企業との連携「油日小学校薬草園」

「くすりのまち甲賀町」のビオトープとして、地元企業シオノギ油日薬草園の指導と協力を得ながら、地域種の薬草を栽培した。3年生が薬草学習の一環としてアイを栽培し、アイ染めに挑戦。朝摘みした生葉を使い、薬科大学の先生の指導のもと、色の変化に感動しながらたたき染めと絞りを加えた青汁染めに取り組んだ。

また6年生は、ムラサキを栽培し、家庭科の「お世話になった人へのプレゼント」の布材料として紫根染めをした。木綿布に染め付ける際に出る悪臭除去について企業専門家に教えていただき、昨年より改善することができた。

また、毎年、地元滝地区の「ササユリの会」より、バイオで育てた球根を分けもらいビオトープに植えているが、今年度も花をつけた。滝地区の子どもたちの継続が実を結んでいる。

学校名	甲賀市立油日小学校
住所	甲賀市甲賀町上野1322
電話番号	0748-88-2079
E-mail	koka30102032@city.koka.lg.jp